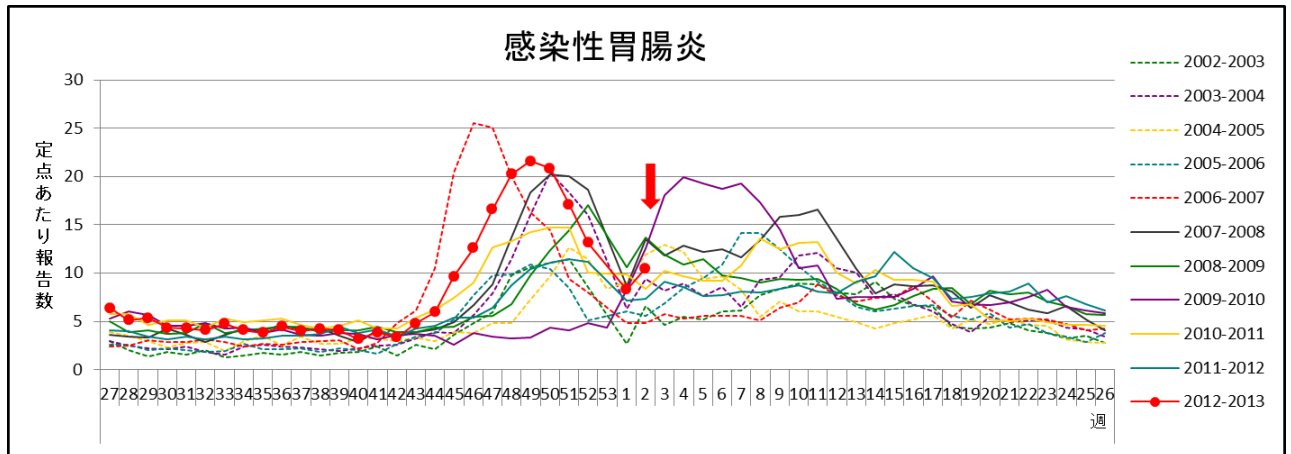


## 感染性胃腸炎情報 2013 年 第 2 週 (1月7日 ~ 1月13日)

○岡山県内の患者報告数は 566 名 (定点あたり 10.48 人) であり、前週より増加しました。(54 定点医療機関報告)

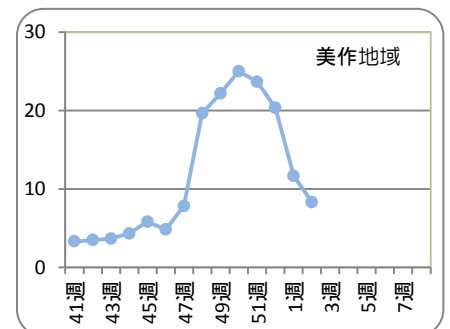
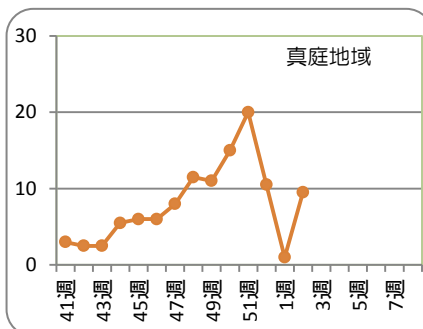
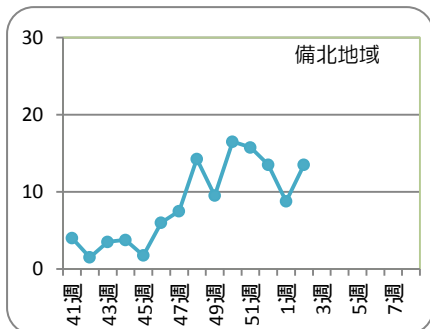
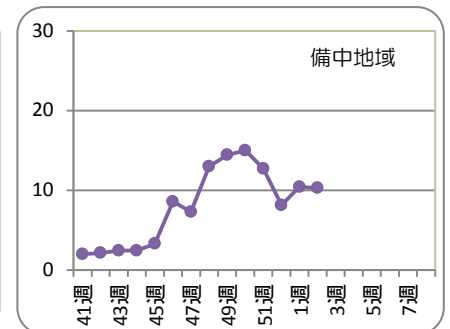
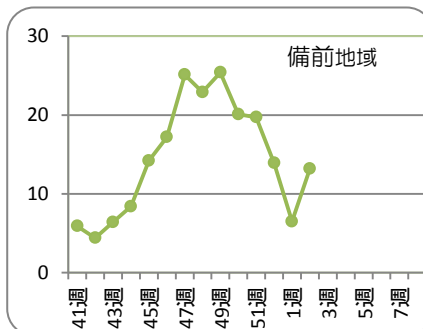
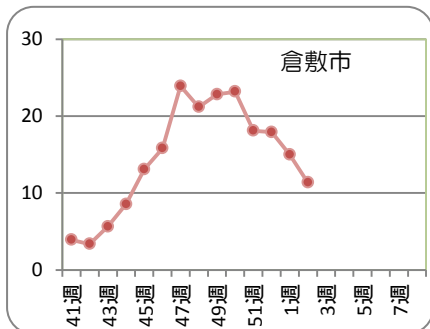
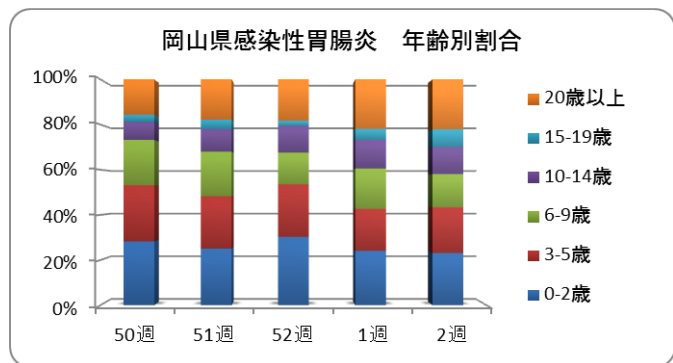
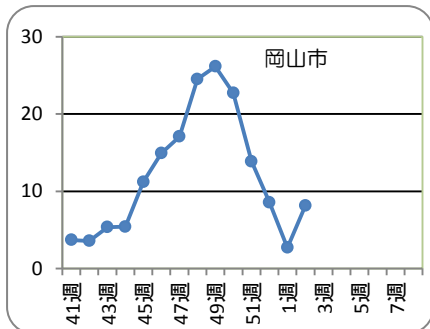


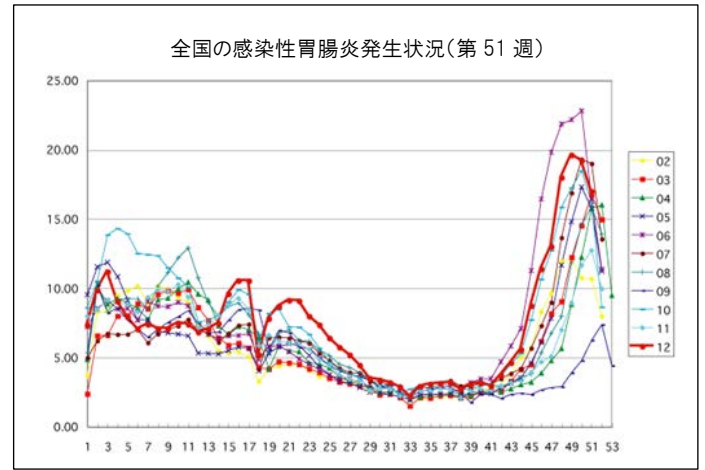
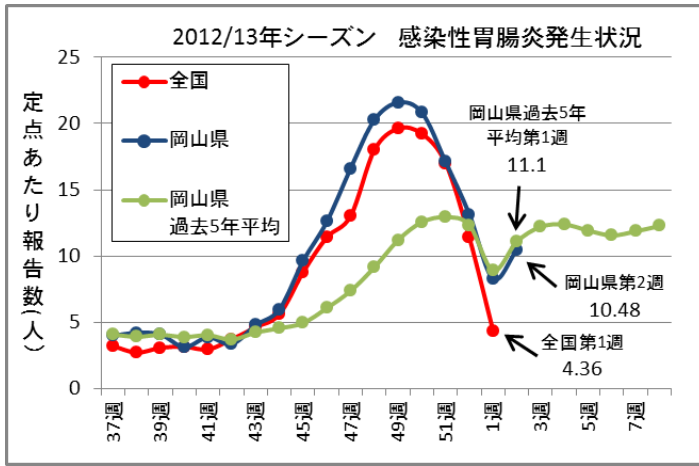
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ~ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

**感染性胃腸炎**は、4 週連続で減少傾向にありましたが、今週増加に転じました。(定点あたり 8.30 → 10.48 人)。全ての地域で発生レベル 1 になりましたが、倉敷市 (11.36 人)、備前地域 (13.20 人)、備中地域 (10.29 人)、備北地域 (13.50 人) など、依然として患者が多い状態です。年齢別では、5 歳以下の幼児で 43% を占めています。また、15 歳以上の割合も増加傾向であり、乳幼児、小児だけでなく、全ての年齢層で注意が必要です。

患者数は過去 5 年平均と同程度になりましたが、今後も流行期がつづくことから、手洗いなど感染予防に努めてください。学校、医療機関、福祉施設などではひきつづき、手洗いの徹底や、下痢便・吐物の適切な処理などの感染予防と拡大防止に努めてください。

### ◆地域別・年齢別発生状況





(国立感染症研究所HPより)

この時期の感染性胃腸炎の主な原因であるノロウイルスの感染予防は、流水・石けんによる手洗いの励行と、吐物や下痢便の適切な処理を行うことが極めて重要です。排便後や、調理・食事の前には手洗いを励行しましょう。吐物や下痢便を処理するときは、使い捨ての手袋やエプロンを使用して他へ感染を広げないよう気をつけましょう。また、処理する人自身が感染しないよう気をつけましょう。消毒には塩素系漂白剤を使用し、広い範囲を消毒して下さい。アルコールは消毒効果が低いとされています。また、拭き取りに使った布などはただちにゴミ袋に入れ密閉し、廃棄してください。[○ノロウイルスに関するQ&Aについて\(厚生労働省\)](#)

[○注意！この冬はノロウイルスに注意しましょう。\(厚生労働省\)](#)

【医療機関などの方へ】

◆ノロウイルスに関する院内感染事案の報告等に関する事務連絡が厚生労働省から発出されました。  
(平成24年12月25日)

全国では、院内感染によるノロウイルスの集団感染事例や患者の死亡事案が散見されています。厚生労働省では平成24年12月25日付で、ノロウイルスに関する院内感染事案の報告等に関する事務連絡が発出され、さらなる感染予防対策に努めるよう注意喚起を行っています。

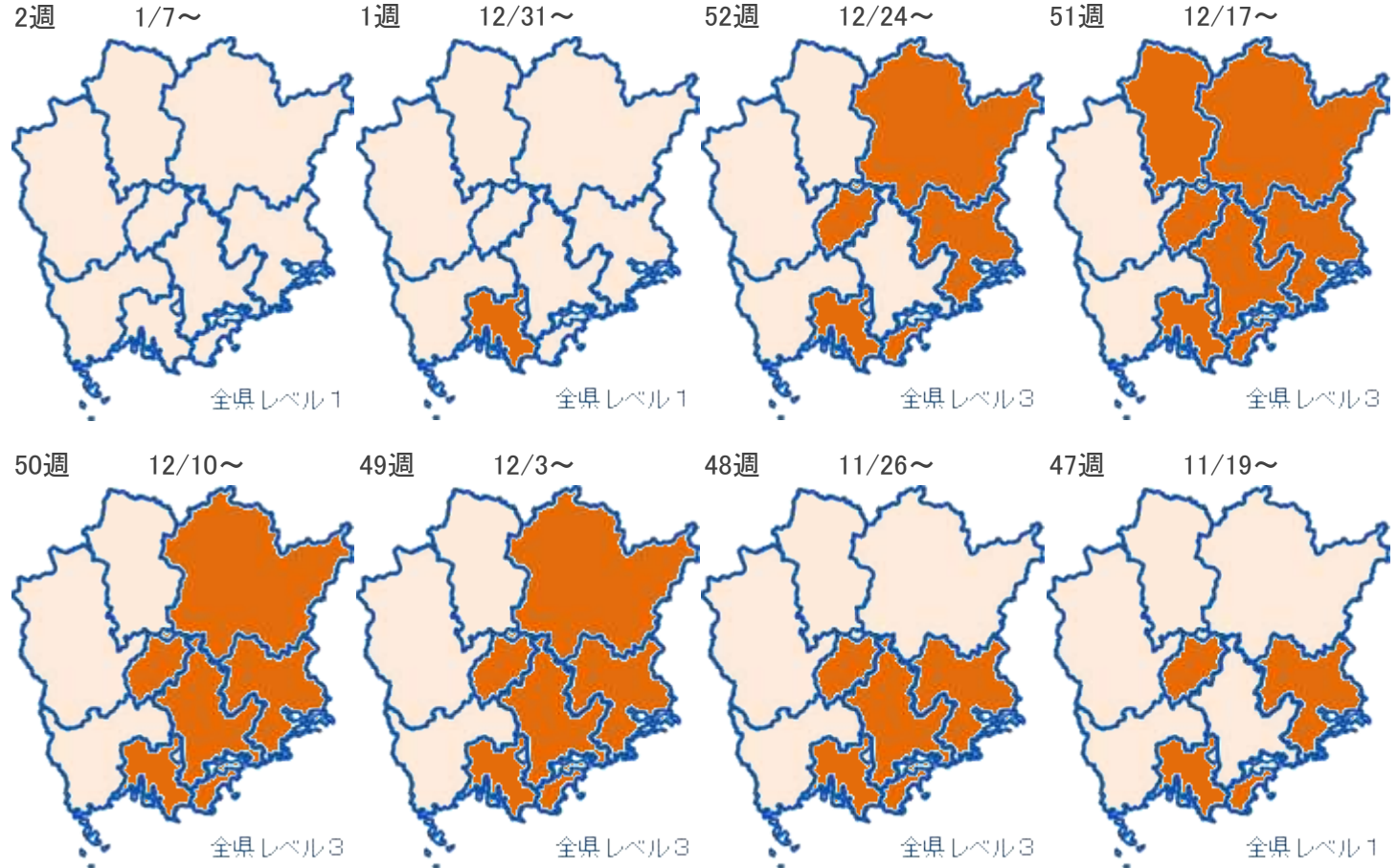
- さらなる手洗いの徹底や、糞便・吐物の適切な処理等の感染予防対策をお願いします。
- 院内感染によるノロウイルスの集団感染を疑う場合や、院内感染との因果関係が否定できない死亡事例が発生した場合は、速やかに管轄保健所に報告し、支援を受けるをお願いします。



# 岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2013年 2週

2013年1月16日

9:58:57



## 感染性胃腸炎

| レベル3  |       | レベル2 | レベル1      | 報告なし |
|-------|-------|------|-----------|------|
| 開始基準値 | 終息基準値 | 基準値  | 基準値       | 基準値  |
| 20    | 12    |      | 0 < 20 未満 | 0    |

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。